

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セカンドプレイス (株) RISE		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 18日		~ R6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R6年 11月 18日		~ R6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己選択・自己決定が出来る様に、支援者が介入して自分で考える事、考える工程の経験を重ねていける場所であること。	子ども達の意欲を高められる様な声掛け・関わり方を、子どもの成長・状況に応じて支援者が統一した支援ができる様に毎日話し合いをしている。	職種による専門性を高めた支援が出来る様に、自己研鑽・研修受講で支援力の向上を図る。
2	地域性の繋がりや、助け合い・お互いを知ることが目的として、同じ学区の異年齢の交流が深められること。	支援利用日の調整や、個性・特性に応じた振替利用を提案している。また、協力して達成する事と喜びと楽しみや、協調性の向上を目指してチーム対戦等の形式を取り入れている。	積極的に地域交流（児童クラブ、他事業所など）の機会を設けていく。
3	今後、訪れるであろう自分達だけで（子ども達だけで）解決して行かなければならない環境を設定して、そのような時にどうすれば良いかを実践できて経験を重ねられる事。	1・に挙げた事と同様に意識はしているが、支援者が介入しすぎないように、あくまでも子ども達主体で進められる様にしている。	ソーシャルスキルトレーニングを取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高学年になり下校時間が遅くなった加減で、支援時間が短縮された時の支援内容の検討。	時間が短いからといって支援の質が低下するのではなく、時間を有効に、生活の場である学校や家庭との連携・調和が必要。	下校時間から事業所に到着するまでの送迎時間を有効活用して、活動の話し合いを進めたり、下校時間の早い日に事前に話し合いを行う等の工夫をする。
2	個人レベルで支援が必要となった時に、個別対応出来る環境調整が難しい。	2・の弱みと同等に、個人レベルの支援が必要だと判断するには、支援者のスキルアップも必要。	個別支援と集団支援の強み・弱みを明確にしていける様に、ケースカンファレンスや勉強会を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 セカンドプレイス(株) RISE

公表日 R7年2月28日

利用児童数 年月日 R7 2月 34世帯

回収数 29世帯

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29				身体をたくさん動かせるスペースがあり、室内も外もいいと思います。子どもがワクワクのびのびと楽しそうです。開放感があり良い空間だと思います。	より快適に安全に活動出来る様にしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27			2	いつもバタバタされている様子。	保護者様が不安な気持ちにならないような立ち居振る舞いに注意していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27			2	玄関前のスロープを道順に歩かず、危ないと感じる事がある。	子供の好奇心を認めつつも、正しい施設の使い方を伝えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27			2	様々なアイデアを取り入れた楽しめる活動が沢山あると思います。	支援プログラムをご理解いただけるようにお伝えしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29				様々なアイデアを取り入れた楽しめる活動が沢山あると思います。子どもの意見を尊重しながら活動を考えている。	子ども達の成長に応じて、適切に変化させて活動を工夫していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	27			2	学校で交流があるため、特に必要性を感じていない。児童クラブのお友達を招待するのはとても良い案だと思いました。	今年度は夏休み期間に児童クラブとの交流を図りました。今後も地域との繋がりを大切にできる機会を設けていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27		2			今年度はスタッフがペアレントトレーニングについての研修を受講しました。今後は研修を活かした情報共有の機会や、理解を深めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29				送迎時や連絡帳、面談等でしっかりコミュニケーションを取って頂いているので満足しています。きめ細かく見てくださっている。	今後も定期的な面談を設けて、共通理解に努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29				送迎時や連絡帳、面談等でしっかりコミュニケーションを取って頂いているので満足しています。定期的に面談があり話しやすいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1	1			保護者様に不安を与えないように、コミュニケーション技術についても向上させていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15		10	4		お忙しい保護者様も参加しやすい会の工夫や、ご家族で参加できる機会を設けていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1		1	専門的な視点からの助言もあり勉強になっています。	保護者様の対応しやすい方法を検討すると共に、発信しやすいような関係性づくりに努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29				細かく見ていただき、様々なことを教えて頂いています。お忙しい中でもLINEでのやり取りもして頂けるのでとても助かっています。子供の様子をよく見てくださっています。とても話しやすい先生方です。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1		3	連絡帳、電話等で情報伝達してもらえています。	定期的にホームページやSNSで情報発信を行っているが、知ってもらえるように情報共有の方法を工夫しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24			5		定期的にホームページやSNSで情報発信を行っているが、知ってもらえるように情報共有の方法を工夫しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			5		定められた方法と回数の訓練を行っていますが、ホームページやSNSでの情報発信、情報共有の方法を工夫しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			2		保護者様が安心して子どもの支援を受けられるように、知ってもらえる機会を設けていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			2	そういったことが起きたことが無いので分からないが、何かあった際にはきちんと対応してもらえるだろうと安心しています。	やむを得ず起こってしまった事故の対応のシミュレーションを重ねています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				とても楽しみにしています。	安心、安全、楽しく成長出来る様に継続して努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1			活動も送迎中も先生方と行うクイズやゲームが楽しいようです。RISEが大好きで利用日をとても楽しみにしています。	安心、安全、楽しく成長出来る様に継続して努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				医療的ケアもある子どもでも他のお子さんと同じ様に活動出来る様に様々な配慮をして頂きとても感謝しています。たくさん成長させてもらっています。親に寄り添い、子どもの意思、意見を尊重して下さって子ども達の居場所を作ってくれている。大満足しています。いつも細やかに対応してもらっている。工夫された活動や丁寧な支援をありがとうございます。いつも感謝しています。	保護者様が安心して子どもの支援を受けられるように、また共に子どもの成長に取り組んでいける様な伴走者として努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		セカンドプレイス(株) RISE		公表日 R7年2月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースの有効活用と工夫する事で、子ども達にも工夫することや考えることに繋がる経験になる機会となるようにしている。	万が一のことも考えて、危険予測される場所を新たに考えてみる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	常に安定した支援が提供できるように、また休み希望が重なるのを防ぐために、3ヶ月前にはちょうせいが出来る様にしている。	人材育成を兼ねて人員の増大、確保を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子ども達の様子に応じて、環境は変わることを念頭に置いて考えるように振り返りを行っている。	子ども中心の子どもが分かりやすい構造化を、改めて考え直す必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清潔、安全を大切にし、支援終了後は掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		定期的、且つ具体的に保護者様の意見を聞けるように面談の機会を充実させていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者による外部評価を取り入れる計画です。今後はその評価を参考に業務改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1		アセスメントや客観的分析が向上し、子ども達に反映されるように努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		自事業所に合ったフォーマル、インフォーマルなアセスメントについて、検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		地域の行政や学校との連携が深まってきています。今後も連携を向上させて、体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		これまでは同様に連絡調整に努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		地域の児童発達支援センター主催の研修を受講している。更に具体的に助言が受けられるような機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		お忙しいご家族にも参加しやすい研修の機会を設けていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		今の背景に合った保護者会等の形を工夫していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		感染症拡大を懸念する思いもあり、地域交流が進まない現状であったが、形を変え工夫して進めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	なし			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		大切な子どもの安全について明確にする。また、連携が取りにくい部分は、連絡手段や時間帯の工夫を凝らしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				